

# 七月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 本願寺派 西福寺  
TEL 072-622-3725 FAX 072-622-3726

いつの間にかうず高く積みあがった恨みや哀しみが、誠実な言葉と抱擁の前に、もろくも崩れ去ります。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十八年七月のご案内を申し上げます。

第二百五十九回

## 人生講座

日時 七月 十日(日) 昼二時〜四時  
講師 本願寺派布教使

福間玄猷師



■福間(ふくま)先生、四十四歳。広島県三次(みよし)市、源光寺住職。二十年前、縁あって当山より入寺しました。平成二十三年に継職法要が厳修され、源光寺様の法灯を継承されました。お話が分かりやすく聞きやすいと好評です。

■夏の日差しが容赦なく降りそそぐ昼下がり。冷房の効いた本堂でイスに腰かけ、仏さまのお話を聞いてみませんか？

●全国布教大会(大阪大会) | 伝燈奉告法要お待ち受け |

法話講師・小林明(奈良) / 安德剛典(大阪) / 西仁子(東京) / 松島法城(兵庫) /

武田公裕(広島) / 長谷都子(兵庫) / 吉村善充(北海道) / 藤大慶(大阪) /  
アトラクション・るんびに学園(和太鼓) / やなせなな(シンガーソングライター)

日時: 2016(平成28)年7月13日(水) 午前9時半〜午後5時

場所: 本願寺津村別院本堂(大阪市中央区本町4-1-3 地下鉄「本町」②出口)  
※軽食をご用意しています。  
お問い合わせ 072-991-0302 (小村)

お盆のお参りは、お早めに。

南無阿弥陀仏をとなふれば

観音・勢至はもろともに

恒沙塵数の菩薩と

かげのごとくに身にそえり

「先祖方を偲びつつ、「お陰さま」と感謝の気持ちで、お迎えください。

「ご家族お揃いでお参りしていただきたく、なるべくご希望に添えるようにいたしますが、お時間の指定までにはご遠慮下さい。

当日の天候や道路事情によりお約束の時間より前後する場合があります。

また、初盆をお迎えになる方を優先させていただきます。

何卒ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

電話: 072-622-3725

伝燈奉告法要団体参拝\*平成29年4月28日



## 正信偈のつづき ②

◆ 顕示難行陸路苦 信楽易行水道楽

【意訳】陸路のあゆみ難けれど船路の旅の易きかな

龍樹菩薩は、『十住毘婆沙論』で、念仏の優れていることを明らかにするため、成仏道に二種類の道があると明かされた。一つは難行道、もう一つは易行道である。難行道の修しにくいことを陸路の歩行にたとえ、易行道の修しやすきことは、水上を船に乗っていくことにたとえた。

◆ 憶念弥陀仏本願 自然即時入必定

【意訳】弥陀の誓いに帰しぬれば不退のくらしい自然なり

本願力の不思議を憶念する人は、おのずから必定に入り、退転することがない。

◆ 唯能常称如来号 応報大悲弘誓恩

【意訳】ただよくつねにみ名となえふかきめぐみにこたえかし

真実の信心を得た人は、寝ても覚めても常に名号を称え、大悲弘誓の恩徳に報いずにはおれない。

◆ 天親菩薩造論説 帰命無碍光如来 依修多羅顕真実 光闡横超大誓願

【意訳】天親菩薩論を説きほとけのひかり仰ぎつ、

おしえのまことあらわして弥陀の誓いをひらきます

天親菩薩も龍樹菩薩同様、千部の論師と称される。釈尊在世より九百年後にお出ましになられた。『浄土論』一卷を造り、浄土三部経の大意を明らかにされ、阿弥陀仏を信順された。天親菩薩は、大乘経を選びとり真実を顕された。その真実とは念仏である。

石川欣也先生の法話のダイヤル 0743-53-4488